

全レポート一覧表示 ▼

日本大学 文理学部
国文学科
NIHON UNIVERSITY, DEPARTMENT OF
JAPANESE LANGUAGE AND LITERATURE.

Introduction
はじめに

Group1
携帯メールにおける
絵文字使用に関するアンケート

Group2
流行語と顔文字における
認知度と使用頻度の差

Group3
外来語と和製英語の
認識について

Group4
敬語の使用に関する調査

Group5
日本語の誤用について

Group6
電子メールに対する意識調査

このページを印刷 (印刷用PDF)

検索

日本大学文理学部国文学科 | お問い合わせ

アンケート 日本語学 超入門編!

日本語学基礎演習 1

Group1 携帯メールにおける絵文字使用に関するアンケート

<岩田班>
板野 築
岩田 嘉津信
木村 華子
廣瀬 義人

[PDF 岩田班 発表データ \(PDF\)](#)

[PDF 使用した調査票 \(PDF\)](#)

はじめに

今回は日本語学基礎演習1において、本講義を受講している学生を対象に携帯メールにおける絵文字の使用度をアンケート調査法を用いて調査した。

調査対象者

日本語学基礎演習1を履修している日本大学文理学部生19人。男女の内訳は、男性12人、女性7人。有効回答数は19だった。

調査内容

I. 当てはまるもの一つに○をつけてください。

- 性別 (男女)
- 携帯電話の所持 (有無)
- 一日当たりの平均送信回数 (数字で記入)

II. 以下の相手に携帯メールを送る場合、絵文字を使用しますか。

(以下、選択肢はそれぞれ1.使う2.場合によって使う3.使わないとした。)

- 親しい同性の友達に送る場合
- 親しくない同性の友達に送る場合
- 親しい異性の友達に送る場合
- 親しくない異性の友だちに送る場合
- 同じサークルに所属している先輩に送る場合
- 同じ内容を同級生のみで構成されたクラス全員に送る場合

仮説

→ 仮説①：同性に送る場合、男性よりも女性のほうが絵文字の使用率が高い。(板野)

→ 仮説②：相手が親しいほど、男性は絵文字の使用率が低く、逆に女性は高い。(板野)

→ 仮説③：目上の人に対して送るメールにおける絵文字の使用率は低い。(廣瀬)

→ 仮説④：個人宛よりも集団宛のメールのほうが絵文字の使用率が低い。(木村)

→ 仮説⑤：普段、メールの発信数が多い人ほど絵文字の使用率が高い。(岩田)

全体のまとめ

調査人数が少なかったためか、全体的に数字の上で明確な結果を得ることは出来なかった。しかし、少ないながらもほぼ全ての項目で仮説を支持する結果を得た。これは、絵文字の使用は、男性は親しい関係性、女性同士の関係性、同じサークル内での関係性で高くなる傾向があることを示している。また、男性は目上の人に対して絵文字の使用率が低い傾向があることが確認された。これは、男性が敬語や丁寧な表現を重視していることが示唆される。一方、女性は親しい関係性や同じサークル内での関係性で絵文字の使用率が高くなる傾向があることが確認された。これは、女性が親しい関係性や同じサークル内での関係性で絵文字の使用率が高くなる傾向があることを示している。また、女性は普段、メールの発信数が多い人ほど絵文字の使用率が高い傾向があることが確認された。これは、女性が普段、メールの発信数が多い人ほど絵文字の使用率が高い傾向があることを示している。

- 立花結花（2005）「日本大学文理学部国文学科2004年度卒業論文若年層の携帯電話メールにおける各種記号の使用—メールのテキスト分析と意識調査」
- 田中ゆかり（2005）「携帯メールにおける『キブン』表現」語文121 p131-119

 ページ TOP へ

Copyright (C) 2011 Department of Japanese Language and Literature. All right reserved.